



504号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



第6回 中央港湾団交 (継続) 労使合意・仮協定締結

4月9日・10日・11日 ~72時間ストライキは解除~

中央港湾団交における前進課題 (検数に係る部分)

認可料金制度の復活・確立について
回答：認可料金制度の復活に向け、労使夫々が実現できるように関係先に働きかけることとする。

適正料金収受、適正支払いについて
回答：専業事業者への下払いについて、日港協として元請事業者に対して指導を徹底する。

重量証明を港頭地区で行えるようにすることについて
回答：港湾のインフラ整備関連 (ゲートオープン・ソーラス問題) については、労使による政策提言として取りまとめていきたい。

65才定年制について
回答：62才までの定年延長の必要性については理解する。但し、実施に向けて雇用延長の条件整備等労働環境の整備については、1年を目途に各地区・各企業労使で協議する。

港湾年金制度の改正について
2015年4月1日以降の離職者に対し、15年間の港湾年金を支給する。但し満80歳を以て支給を終了する。なお、細部については早急にワーキンググループで協議し、とりまとめる。

【第6回中央港湾団交 (継続) 経過】

4月6日 (水) 前日からの休憩を挟んで再開された第6回中央港湾団交で、日港協よりストライキ回避に向けた修正回答として、(認可料金・適正料金・重量証明・65才定年制・港湾年金等) 等に対して回答がされた。

全国港湾は日港協からの回答を受け内部検討を行った結果、3月24日のスト通告以来、我々が求めていた要求の前進が図られたとして日港協と合意。あわせて4月9日~11日の72時間ストライキを解除した。

両協会 有額回答提示 (定昇のみ)
組合は次回交渉までに大幅修正を主張!

第6回 検数労連 16春闘交渉経過

4月7日 (木) 第6回検数労連 16春闘交渉で、冒頭、組合は昨日の中央港湾団交で交わされた全国港湾と日港協の仮協定書の内容で、検数に係る重要な部分 (料金収受・SOLAS条約に係る重量証明・定年延長制度の確立・産別最低賃金問題) について、次の通り主張を行った。

- ① 料金収受について、産別の合意内容では「日港協は専業事業者への下払いを徹底する」との回答をしている。料金収受のためにも元請け事業者との積極的な料金折衝を求める。
- ② 定年延長について、今後1年を目途に各企業労使での協議が確認されている。16春闘終了後には引き続き定年延長に対する協議をすすめるよう求める。
- ③ SOLAS条約に関する重量証明について、国交省は「重量を証明するもの」として第一に「検数事業者」と表明している。これをビジネスチャンスと捉え、両協会においては積極的に業務拡大へと動いていただきたい。

④ 産別賃金について、日港協の回答では「引き続き賃金・労働時間問題専門委員会」において協議がされることから、現行、産別賃金に抵触する地区においては16春闘での解決を求める。

両協会 有額回答提示

続いて組合は両協会に対し、有額回答の提示を求め、両協会より上記の通り、有額回答が提示されました。組合は両協会からの有額回答を受け、休憩を挟みながら分析を行い、次の通り主張を行った。

組合 主張

- ① 本日の交渉で定昇のみであるが、回答されたことについては受け止める。しかし、要求との関係では不満である。また、昨日行われた専業関係の交渉が3,000円で妥結した。両協会の回答は専業の回答にも届いておらず遺憾である。
- ② 全日検においては、本日時点で定昇のみの回答であるが、組合としては最低でも「14春闘時の確認書」に基づいたペーパーを強く求める。
- ③ いずれにしても、従業員のモチベーションを上げる意味でも大幅な賃上げを求める。
- ④ 本日の交渉で定昇のみであるが一定の回答されたことを受け止めて、3月28日に通告した4月9日~11日の72時間ストライキについては解除する。

【両協会 16春闘回答】

【日検協会:回答内容】(定昇)

満55才以下 2,500円
満56才以上 2,000円

【全日検:回答内容】(定昇)

職員A 1,200円
職員B 1,200円

次回交渉
第7回検数労連
16春闘交渉は
事務局調整となります。